

海外タイル事情 RENEW 【第10便】

タイル作家 奥田有紀さん

相澤 昭郎

世に陶芸家が多いが、タイル作家というのは日本では少ないのではないだろうか？

奥田有紀さんは、イタリアのタイル工房で職人として修業をした、タイルのアーティストである。奥田さんは東京の大学で染色を専攻、友禅を見て歩いた末、京都の素描友禅の会社に就職した。そこで筆の使い方や色の作り方、配色、配置など基礎を一から学んだ。

「修業は新聞に墨汁で花びらや葉っぱを一筆書きし、濃淡だけで立体的な線を描くことから始まり、次に原液染料(赤、ピンク、黄色、青、白い胡粉)の5色から様々な色を作り出し、それに撥水剤や糊を入れて染料を作る。それを用いて着物の生地の下絵を頼りに筆で描くことを学びます。1、2年働くと着物の柄をデザインする練習が始まり、スケッチ、柄の配置、色の組み合わせなど沢山の事を覚えしました。これらは今

でも自分のベースになつていきます」と語る。

着物は美しく繊細であるが、月日と共に劣化する。また彼女が育った家には父親が異国で買ってきたタイルが数点飾ってあった。そのせいかタイルに興味があり、さらに偶然にINAX出版の『ヴィクトリアンタイル』という本に出会う。100年以上前にイギリスで作られた、ガラスのような輝きを放つ綺麗な色のタイルに魅せられて、イギリスに行くかと思いついた。しかし、すでにイギリスではタイルがあまり製造されなくなっていることを知り、イタリア・フィレンツェに留学。イタリア語学校と美術学校に通い陶芸を専攻。タイルの作り方やモザイクタイルの張り方、手びねり、ろくろ

等を学んだ。

1年間の留学が終わる頃、資金は尽きたのにタイル作りは趣味程度のレベルでしかなく、これでは日本に帰れないと感じ、本場のタイルの工場で働きたいと思つていった。フィレンツェから北へ150キロ程の所にタイルの町が在ると聞き、仕事を探す為に通うことになった。その町は「サッスオーロ」という名前前で、小さな駅を降りると「何処にタイルの会社があるのだろうか？」という程の田舎町であった。その後の仕事探しは本当に大変だったようだ。まずイタリア人ではない(イタリアにはモロッコ、アルバニア、中国の移民が多い)、のは当然だが、学生ヴィザだったうえにコネも全くなかった。



タイル作家 奥田有紀さん (2004年 forme2000にて)

奥田有紀さん (YUKI-YAKI 代表・タイル作家 /Tile Artist)

杉野女子大学卒業 (染色専攻)
京都 手描き友禅二代目清次郎
花鳥園で働く (手描き友禅職人として)

2002 渡伊 フィレンツェ
2003 伊モデナ タイルメーカー FORME2000slr で働く
2008 渡仏 ニース大学で語学を学びタイル作家として活動
2015 帰国 装飾タイル製作を専門にした YUKI-YAKI をスタート
現在に至る。

東京生まれ神奈川県在住

大きな会社も小さな会社も履歴書は受け取るが、返事が来る事は無かった。

職を探しているうちに、たちまち数カ月が経ち、職安からもら



手描きの原図をインクジェットプリンターで印刷したモザイクタイル

た候補会社のリストが最後になる頃、いろいろな人々の助けもあって、「Forme2000」という装飾タイルを中心にする会社を作ろうと決めた。入り口にはガラス質のキラキラしたタイルが飾ってあり、「ここだ！」と思つた。しかし、この会社からも「今は人手が足りている」と断られた。それでも熱心に通うと、「勉強したいならお給料は払わないが、インターンとして短期間ずつ主要な部署で働いても良い」との事。

ところが2010年代に近づく頃になると彫刻などの複雑な注文は減り、タイルのサイズはほとんど大きくなり、折しも不景気で周りの会社が倒産。イタリアを去る事を決めた。10年以上イタリアやフランスで過ごしたが、その間、ずっと日本に帰ってタイルを作りたいと考えていた。2015年の年末に帰国、2016年から装飾タイルを作る活動を始めた。

「情報が簡単に手に入る今、日本でもタイルを作るアーティストに出会ったり、岐阜県には高い技術を持つタイルメーカーが多数存在している事を知り、とても驚きました。今後は今までの経験を生かして日本にタイルの良さを知ってもらったり、海外に日本のタイルや文化を紹介できたらと考えている。」

2018年の夏は軽井沢で初めての個展を開いた。「来年家を建て替えるという方がタイルを張りたいと、注文して下さり、試行錯誤しています。今後は空間全体を考えてタイルをデザインする経験を積んでいきたいです」と語る。一見、遠回りをしてるように見える経歴も、真のオリジナリティを生み出すために必要な経験であり、それは彼女の作品から窺い知れる。

広くタイル業界のためにも、タイルの美しさ、タイル作りの楽しさや大変さを多くの人々に伝えて頂きたいと思う。今後のご活躍を切に願っている。

(名古屋モザイク工業 営業推進室長)



チェコの街並み (2017年)

「恵那峡 笠置山」

—— 恵那八景 (屏風絵) より ——



日本画家 遠山幸男 画



第 3 部

栗きんとん

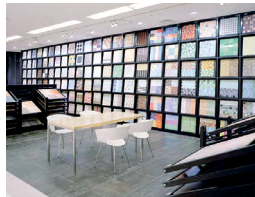
恵那新報

代表取締役 原 真一郎
恵那市大井町二二三一
市若松二五四一
多治見市一五五
多治見市二三五

あけましておめでとうございます

平成31年 元旦

MOSAIC.a
名古屋ショールーム



日本最大級 タイルのショールーム 150坪のフロアに展示したタイルは、約4,000アイテム
10:00~17:00/日・祝日休業 TEL (052) 962-1881 名古屋市東区東桜1丁目3番10号 東桜第一ビル1F

名古屋モザイク工業株式会社

タイルをアートに!!

本社/岐阜県多治見市笠原町2455-20

www.nagoya-mosaic.co.jp



ヤマカ株式会社 ヤマカ陶料株式会社 ヤマカ興産株式会社

代表取締役社長 加藤 智子 多治見市本町3-101-1 (クリスタルプラザ4F) TEL.0572-22-2391(代) FAX.0572-23-3196



EST.15
多治見市のバスケットボールクラブチーム
GIFU SEIRYU HEROES
を応援していきます。



株式会社セラメッセ
本社/岐阜県多治見市笠原町1249
TEL 0572-43-3211 FAX 0572-43-5026



株式会社 アイコットリョウ

代表取締役会長 伊藤 良一
代表取締役社長 伊藤 洋二
多治見市大藪町一九八九一五
TEL (0572) 22-2171 FAX (0572) 22-2178
多治見市大藪町一九八九一五
TEL (0572) 22-2171 FAX (0572) 22-2178



株式会社 神谷匣鉢製造所
株式会社 カミヤサガ

多治見市十九田町二一三五
TEL (0572) 22-1718 FAX (0572) 22-1718
多治見市十九田町二一三五
TEL (0572) 22-1718 FAX (0572) 22-1718



藤垣窯業株式会社

代表取締役会長 藤垣 孟
代表取締役社長 藤垣 伊織
本社 多治見市旭ヶ丘一〇一六一八
TEL (0572) 22-9121 FAX (0572) 22-9121
東京営業所 東京都渋谷区代官山十四一五五〇〇
TEL (03) 6685-1168 FAX (03) 6685-1168



〒507-0071
岐阜県多治見市旭ヶ丘10丁目6-15
(多治見市北部・美濃焼卸団地内)
tel.0572-26-9516

営業時間/11:00~21:00
(17:30~完全予約制)
定休日/火曜日
http://swantilecafe.jp



各種工業窯炉・真空炉リサイクルプラント設計施工

高砂工業株式会社
代表取締役社長 鈴木 達也
本社 土岐市駄知町二二三二一
TEL (0572) 591-1234 (代)